

施工業者様用

〈施工説明書〉

天井ジャスト インセット引戸専用枠材 (標準:片側ソフトクローズ) 上吊り ソフトアート

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- ・上吊レールの固定はインパクトドライバーを使用しない。
上吊レールの固定に際し、インパクトドライバーを使用すると下地材に割れが発生したり、ビスが空回りしてレールや扉が落下する危険があります。

- ・吊車・レール等は消耗製部品。
引戸用吊車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。
長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお勧めします。
- ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。



必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

開梱

■ 梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

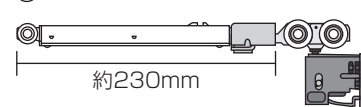
枠本体セット						ビスセット（枠本体セットに梱包）									
部材名		縦枠 （開口部側）	縦枠 （戸袋側）	中方立	鴨居 レール （アルミ） 	部材名		袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	透明	
								木ダボ  6mm 35mm	組み立て ビス  62mm φ3.8mm	下枠固定 ビス  25mm φ3.5mm	躯体接合 金具ビス  47mm φ3.8mm	六角レンチ  7mm L50mm	クッション キャップ  φ16		
入 数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	入 数	片引き戸	セット品番	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個
	引き違い戸	2本	—	—	2本		引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個	
	引き分け戸	—	2本	2本	1本		引き分け戸	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個	
	4枚引き違い戸	2本	—	—	2本		4枚引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個	
備 考 （部材品番等）		—	—	—	—	備 考 （部材品番等）			使用しません	使用しません	使用しません	枠と躯体の 固定に使用 できます	使用しません	—	

金具セット(枠本体セットに同梱)【標準:片側ソフトクローズ】											
部材名			吊車	振れ止め 金具 (床付用)	戸じゃくり キャップ	引き分け ストッパー	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット)	トリガー 取り付け 治具	
枠外			セット品番					 55mm φ3.8mm	 C D		
入 数	片引き戸	1644・1450	ZYJKL4	1個	1個	2個	—	6本	Ⓑ1	Ⓐ1	1
	引き違い戸	1644	ZYJHL4	2個	2個	2個	—	12本	Ⓑ2	Ⓐ2	1
	引き分け戸	3234	ZYJLL8	2個	2個	2個	1個	11本	Ⓑ2	Ⓐ2	1
	4枚引き違い戸	3234	ZYJIL8	4個	4個	2個	2個	22本	Ⓑ4	Ⓐ4	1
備 考 (部材品番等)			ZYTF01	ZY3334	ZYTJ04	ZY3337	ZYTJ01	—	—	ZYTG1	

※両側ソフトクローズにしたい場合は追加で下記セットをご発注ください。

別売品【ソフトクローズ金具セット】						
部材名				クローザー 本体 (吊車なし)	トリガー セット (ビス2本セット)	
						※吊車固定ビス 同梱
		枠外	セット品番	必要セット数		
入 数	片引き戸	1450	ZYJRS1-7	×1	Ⓐ1	Ⓒ1
		1644	ZYJRL1-7	×1	Ⓑ1	Ⓓ1
	引き違い戸	1644	ZYJRL1-7	×2	Ⓑ1	Ⓓ1
	引き分け戸	3234	ZYJRL1-7	×2	Ⓑ1	Ⓓ1
	4枚引き違い戸	3234	ZYJRL1-7	×4	Ⓑ1	Ⓓ1

① ショートストローククローザー本体



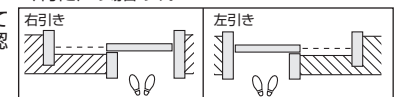
② ロングストローククローザー本体



引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

※片引き戸の場合のみ。



片引き戸・引き分け戸(②・③のみ) ※下記部材図は右引きの場合			引き違い戸
① 縦枠(戸先側)	② 縦枠(戸尻側)	③ 中方立て	縦 枠

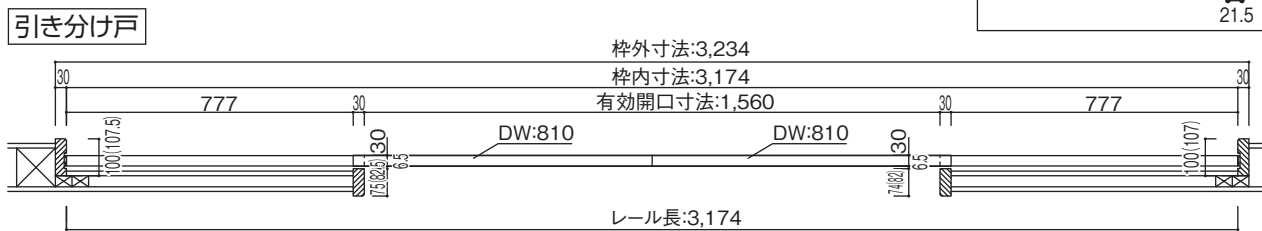
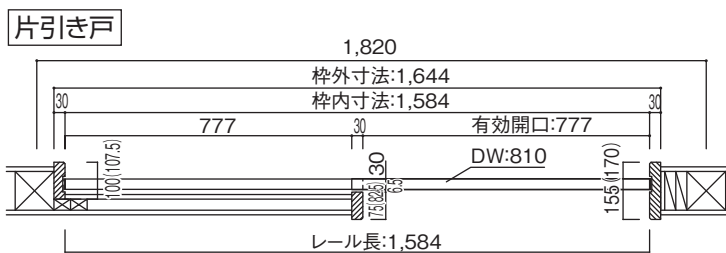
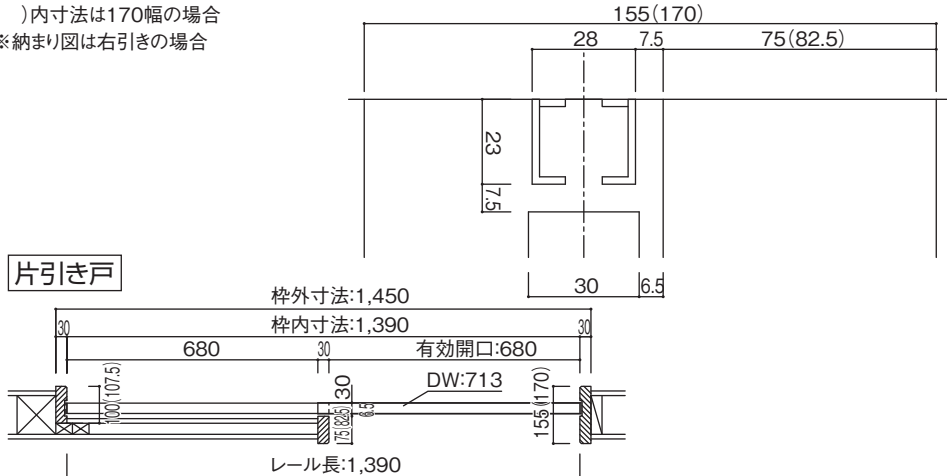
※()内寸法は170mm幅の場合

納まり図

横断面図

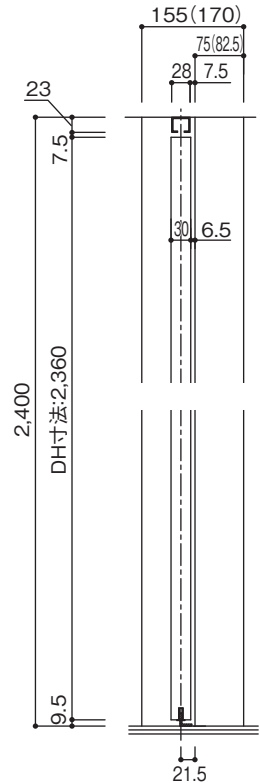
(単位:mm)

()内寸法は170幅の場合
※納まり図は右引きの場合



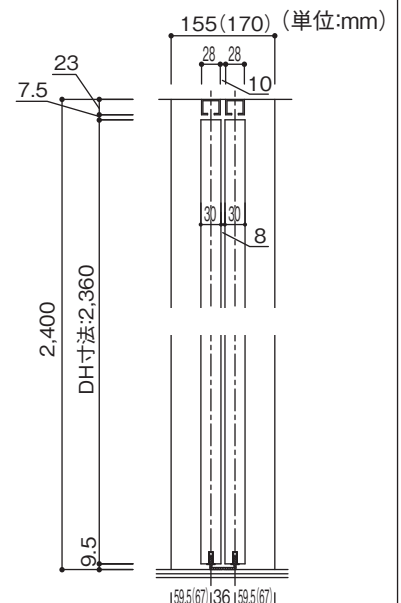
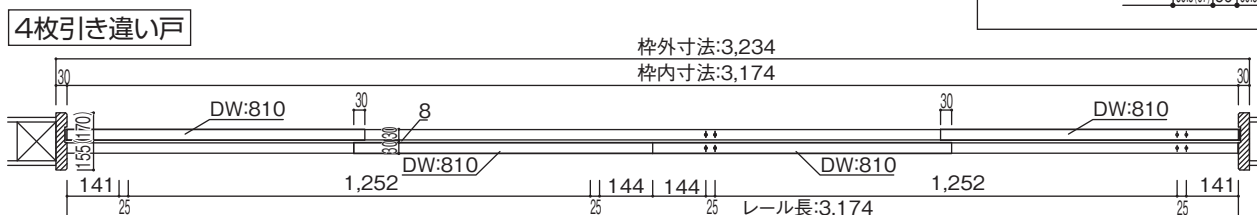
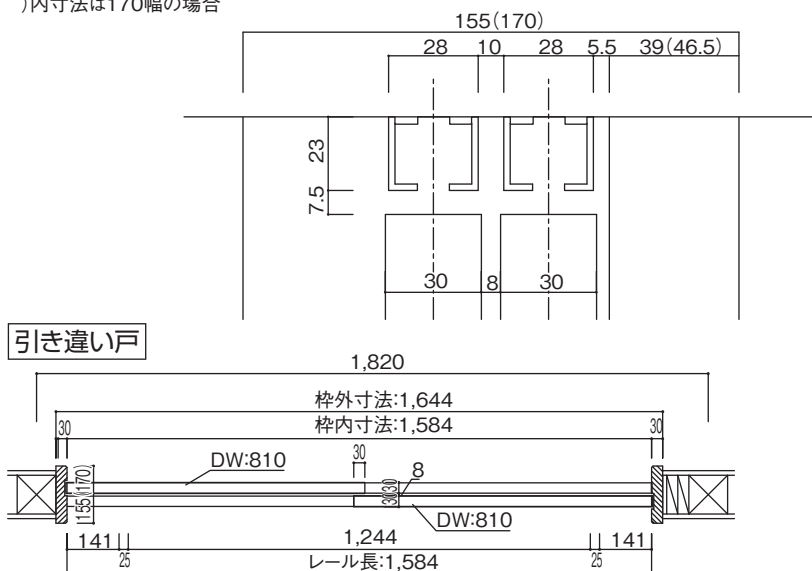
縦断面図

(単位:mm)



()内寸法は170幅の場合

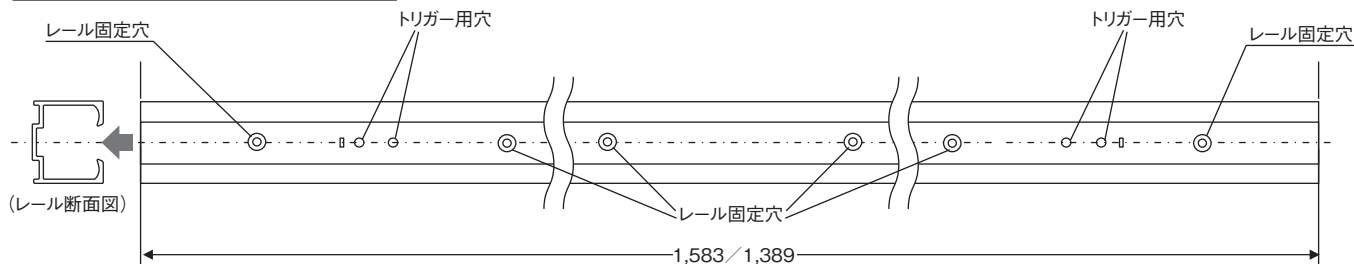
(単位:mm)



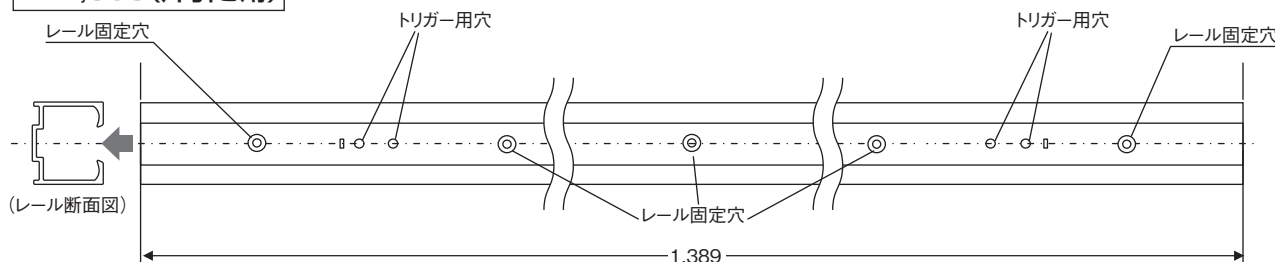
■上吊レールビス穴詳細図

L=1,583(片引き・引き違い用)

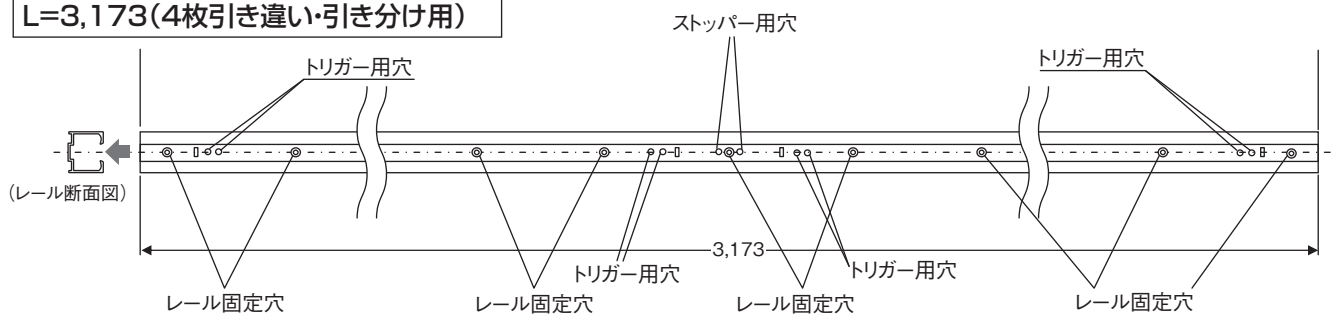
(単位:mm)



L=1,389(片引き用)



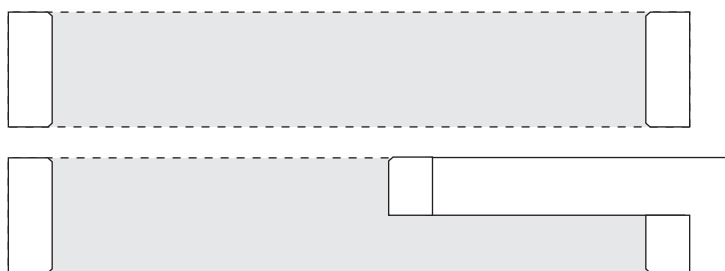
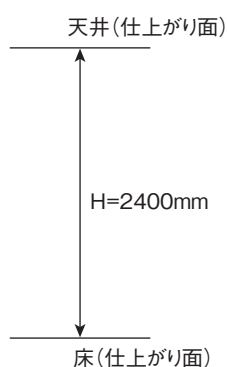
L=3,173(4枚引き違い・引き分け用)



※上記図はレール断面図の矢印の方向からみた図です。

施工手順

1 開口部の確認



⚠ 注意

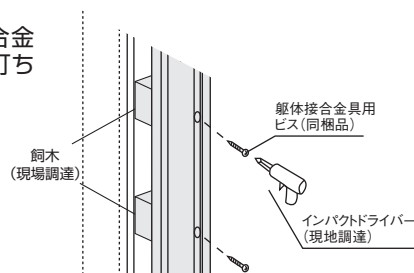
扉の高さがH=2360mmになります。
天井高がH=2400mmになるように
仕上げてください。

⚠ 注意

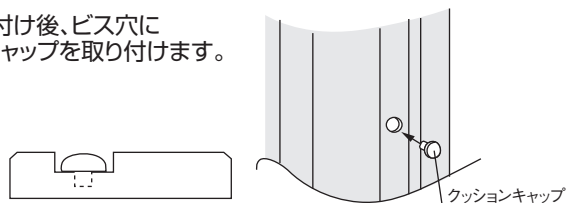
縦枠の内々に天井取り付けの上吊レールが取り付けます。枠の内々の天井部分は荷重に耐えられるように必ず補強をおこなってください。天井下地の補強が不十分だと、扉、上吊レールが脱落・転倒するおそれがあります。
※天井下地にはLV野縁システムを推奨します。

2 縦枠の取り付け

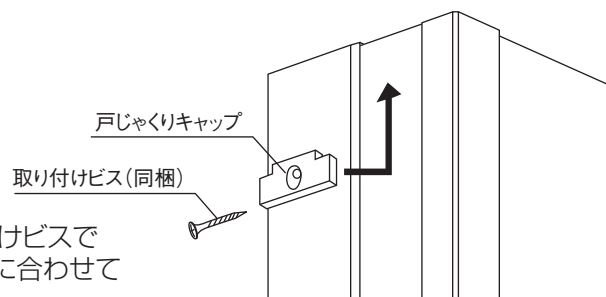
枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。



縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

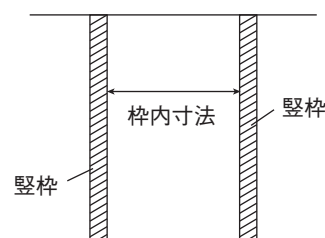


戸じゃくりキャップを縦枠の戸じゃくり部分にあて、同梱の取り付けビスで取り付けてください。このとき、戸じゃくりキャップは縦枠の上端に合わせて取り付けてください。



⚠ 注意

縦枠を取り付けるときは、納まり図をよく確認し、枠内寸法を確保してください。枠内寸法が異なっていると扉が納まらない可能性があります。



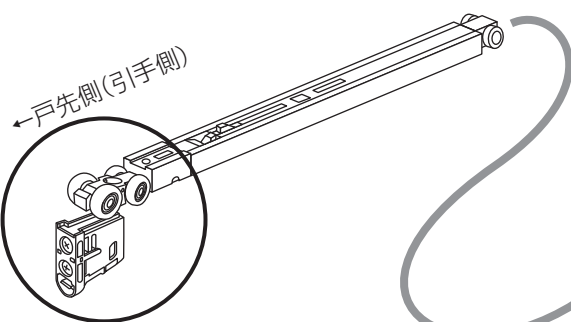
3 吊車の挿入

片側ソフトクローズ仕様 標準仕様

上吊レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズの使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

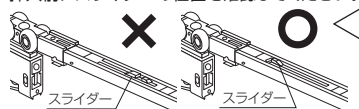
片側ソフトクローズありの場合 (標準)

※戸先側 (引手側) にソフトクローズ用の吊車をもってきてください。

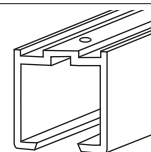
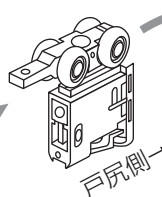


⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



標準仕様

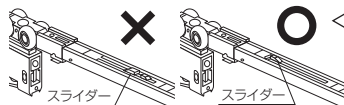
両側ソフトクローズ機構ありの場合

オプション仕様

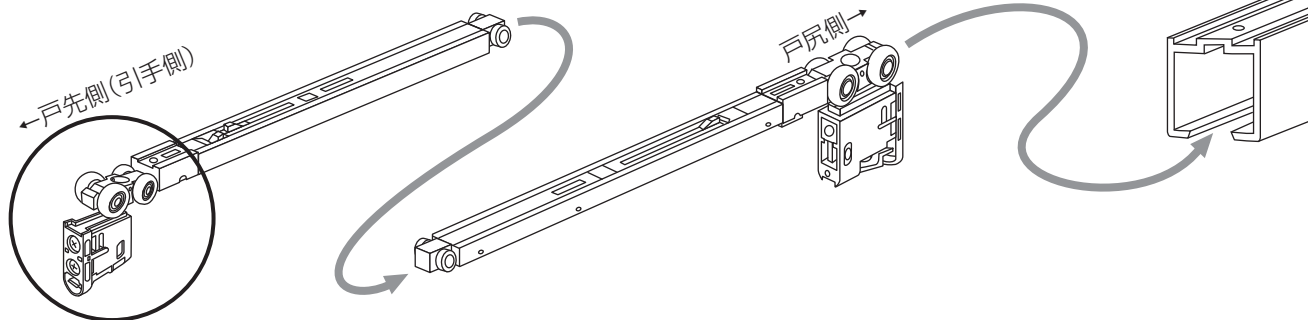
上部吊り車をソフトクローズのスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。

注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



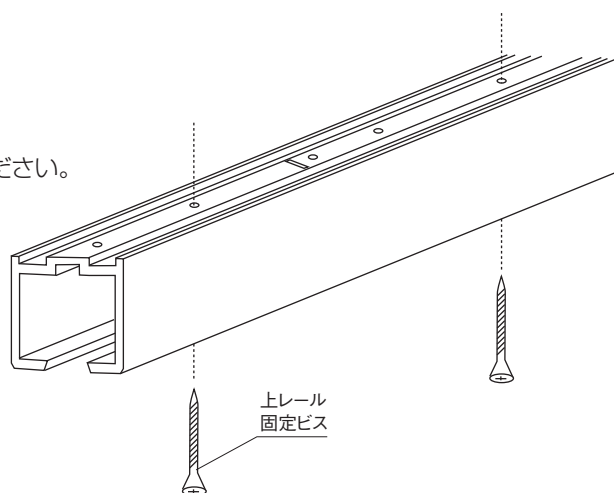
4 上吊レールの固定

縦枠取り付け後、天井のクロス仕上げ後に上吊レールを取り付けてください。

4ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参照し、レール固定穴に同梱の取り付けビスで確実に固定させてください。
※ビスを取り付ける前に下穴をあけておいてください。

注意

- ・レール取り付けビスを打ち込む場所にはビスがきちんと効くように下地の補強を確実に行ってください。(4P参照)
- ・吊車を挿入した状態でレールをかたむけると、吊車が落下してしまうおそれがありますので、レールを取り付ける際は平行にして取り付けてください。



※必ず同梱のビスを使用して下さい。

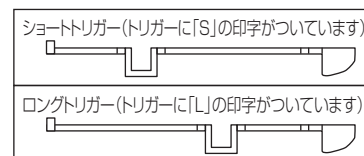
- ・L=1,389の場合……5カ所固定
- ・L=1,583の場合……6カ所固定
- ・L=3,173の場合……8カ所固定

5 トリガー・引分ストッパーの取り付け

鴨居レールのトリガー取り付け用の下穴にトリガーを同梱の専用ビスで取り付けます。

(1) トリガー取り付け方向

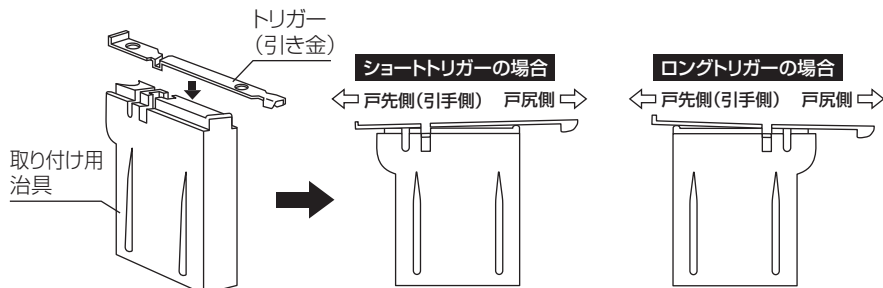
トリガーには戸先側(引手側)と戸尻側の向きがあります。右図を参考に戸先側と戸尻側の向きを間違えないように取り付けてください。また、商品寸法により、トリガーのサイズが異なる場合があります。詳しくはソフトクローズ金具に同梱の詳細をご確認ください。



(2) 取り付け用治具へのトリガーセット方法

右図を参考にトリガーを取り付け用治具へセットしてください。

- ※ ショートトリガーとロングトリガーで取り付け用治具の向きが変わります。
- ※ 両側ソフトクローズ仕様の場合、上記戸先側と戸尻側が逆になることがあります。



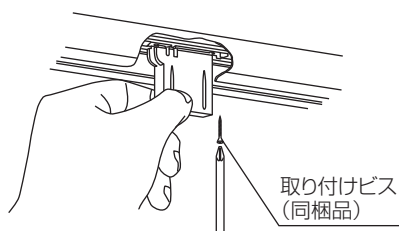
③ トリガーの取り付け

■ トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

- ※ 必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

トリガーをセットした取り付け用治具を上吊レール内側のトリガー用穴へ押し当てて同梱の専用ビスを治具ビス穴に通し、トリガーを固定します。

① 取り付け用治具を使用しトリガーをレールに取り付ける。



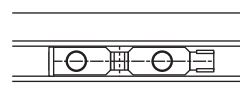
② ビスで固定したら取り付け用治具を引き抜いてトリガーから外す。



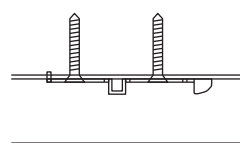
固定されたら、取り付け治具を下に引っ張って抜いてください。トリガーの固定は2か所となっています。取り付け用治具を引き抜いた後、もう1か所のビス穴に、同梱の取り付けビスで固定してください。

トリガー・上吊レール納まり図

◀ 戸先側(引手側)



◀ 戸先側(引手側)

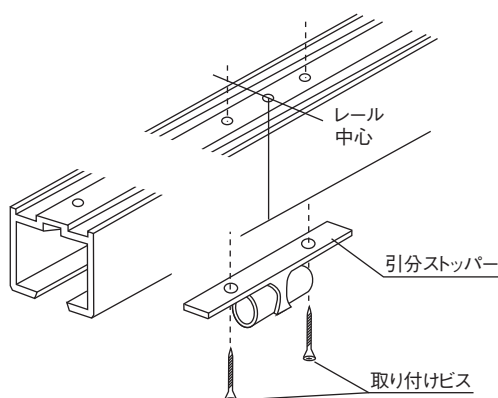


⚠ 注意

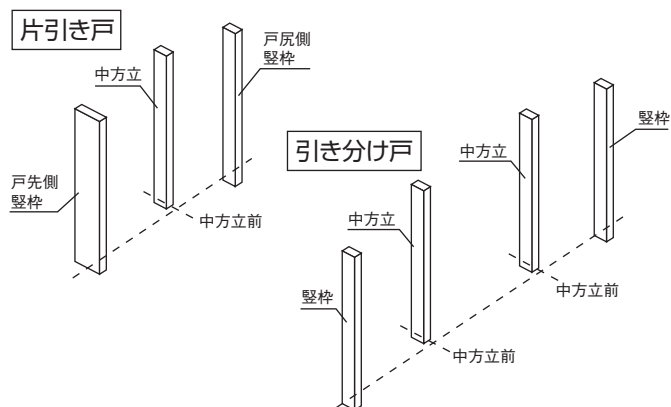
トリガーの取り付けは、手回しドライバーにて行ってください。トリガーがしっかりと取り付けされていない場合、もしくは、正規の取り付け位置に取り付けていない場合ソフトクローズの動作不良の原因となります。

引き分けの場合のみ

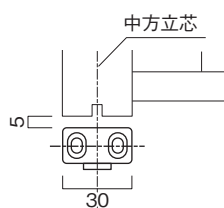
4ページの「上吊レールビス穴詳細図」を確認し、ストッパー用穴に引分ストッパーを同梱の取り付けビスで取り付けてください。



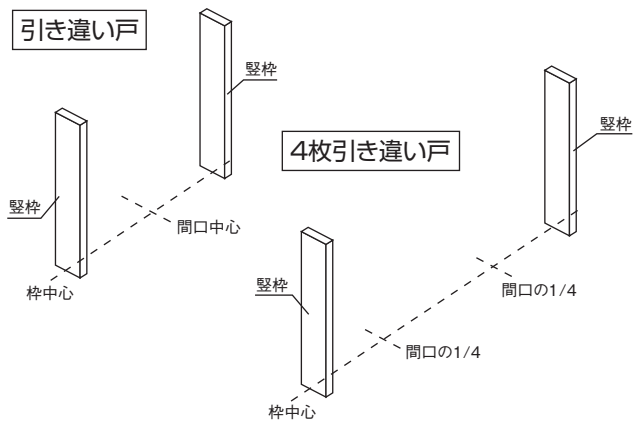
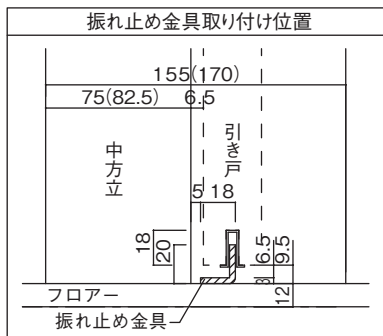
6 振れ止め金具の取り付け



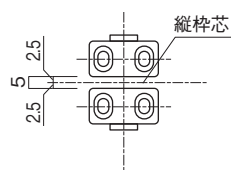
※一旦仮置きし、引戸の開閉に支障がないことを確認してから本固定してください。



振れ止め金具取り付け位置



※一旦仮置きし、引戸の開閉に支障がないことを確認してから本固定してください。



振れ止め金具取り付け位置

